

AR台本

製作

**SUNRISE**  
パブリシティビジュアル

# THE STRIPES

41

ACT:20

Stripes

**注**  **意**

サンライズアニメ制作資料です。  
無断で複製、有償・無償譲渡、貸与、  
交換等した場合、法律により罰せら  
れる場合があります。

~~修正済~~



『神の名においてこれを鑄造する。汝ら罪なし』

〈12世紀のドイツの死刑執行人達の刀剣に刻まれた文字より〉



## 制作スタッフ

企 画	サンライズ
原 作	矢 立 肇
コンセプトワーク スーパーバイザー	さとうけいいち

---

監 督	片 山 一 良
-----	---------

---

シリーズ構成	小 中 千 昭 片 山 一 良
キャラクターデザイン メカニカルデザイン	さとうけいいち
美術デザイン	佐 藤 肇

---

音 楽	佐 橋 俊 彦
音楽プロデューサー	野 崎 圭 一 (ビクターエンタテインメント)

---

美術監督	太 田 大 (美峰)
色彩設計	中 里 智 恵
撮影監督	福 士 亨 (T2)
編 集	山 森 重 之 (ジェイフィルム)

---

音響監督	鶴 岡 陽 太
------	---------



音響効果	庄 司 雅 弘 (フィズサウンド)
録 音	はた しょうじ
録音スタジオ	スタジオごんぐ
音響制作	楽 音 舎
音響制作担当	杉 山 好 美

---

ビデオ編集	キュー・テック
-------	---------

---

制作デスク	田 村 一 彦
アシスタントプロデューサー	石 川 達 大
プロデューサー	杉 田 敦
	内 田 健 二
	大 橋 千恵雄

Table with 2 columns and 4 rows of text, likely a list or index. The text is extremely faint and illegible.



# THE STRIPES

ACT: 20

Stripes

脚 本	小 中 千 昭
絵コンテ	渡 邊 哲 哉
演 出	渡 邊 哲 哉
キャラ作監	平 山 円
	堀 井 久 美
メカ作監	
制作進行	佐 野 正 衛



ACT: 50

2019

圖書出版  
發行  
地址  
電話  
郵政  
代辦  
發行  
地址  
電話  
郵政

C A S T

ロジャー・スミス	.....	宮 本 充
R・ドロシー	.....	矢 島 晶 子
エンジェル	.....	篠 原 恵 美
ノーマン	.....	清 川 元 夢
ダン・ダストン	.....	玄 田 哲 章
アラン・ダイブリエル	.....	
ゴードン・ローズウォーター	.....	石 塚 運 昇
ヴェラ	.....	
女の歌声	.....	
無 線	.....	

其 本 宮 殿 之 中 亦 有 一 座 佛 堂  
千 佛 殿 大 殿 佛 堂 佛 堂 佛 堂  
美 善 無 窮 佛 堂 佛 堂 佛 堂  
善 惡 俱 備 佛 堂 佛 堂 佛 堂  
亦 有 佛 堂 佛 堂 佛 堂 佛 堂  
其 佛 堂 亦 有 佛 堂 佛 堂 佛 堂

佛 堂 佛 堂  
佛 堂 佛 堂  
佛 堂 佛 堂  
佛 堂 佛 堂

								画面	音声
	7	6	5	4	3	2	1		
	画面横に盛る炎 炎ワイプ	燃え散る本	大量の本の山が燃えている	W I N 炎 炎ワイプ	荒野に続くわだち 停まったトランスポーター。 ドアが開いて、人が出る。 ドア閉じる。	時計塔の向う O L P A N 風	F I 砂に埋まった時計塔 P U 風が吹いてる O L		女の歌声 (off) 「(ハミング グラ・マルセイエーズ)」 ←
	(S E) ゴオ——			ロジャー (off) 「(荒い息づかい)」					

15	14	13	12	11	10	9	8
溶ける時計塔の針	ゴードン、笑み優しく悟す。 新しいトマトを出す。	見つめる子供の目	見つめる感情のない子供達	伸し歩く巨人三体	奥の一体がビームを発射 ビルを貫く	炎の照り返しのロジャー目、 見開いてる TU	燃える時計塔 PU 上空に飛ぶ巨大な群れ

22	21	20	19	18	17	16
<p>ベッドに腰降したロジヤー</p>	<p>WIN ロジヤー宅寝室</p>	<p>WOUT 子供の目 目パチ</p>	<p>ロジヤーの目 目パチ。 と、目にバーコード</p>	<p>子供ら</p>	<p>トマトに映るロジヤー</p>	<p>シルエットのビッグオー 手を伸ばす</p>
<p>ロジヤー「ハア…ハア…ハア…ハア…」 ←</p>						

30	29	28	27	26	25	24	23
車内なめ、橋と街。	車内のロジャー 窓に映る橋	走るグリフォン	昼 曇天 ハープ橋のワイヤー	見つめるドロシー	疲れたロジャーなめドロシ	著者・ゴードンの文字	卓の本「メトロポリス」

ロジャー(M)「だが、一人だけ、そうでは無いかも (こぼし)」	←	そのメモリーがどんなものであれ、 我々が望んで失ったものではない筈 だ	←	ロジャー(M)「ここはパラダイムシティ。 記憶を四十年前に失った街。	←	(on) ハア…	←	(off) ハア…	←
------------------------------------	---	---	---	---------------------------------------	---	-------------	---	--------------	---



37	36	35	34	33	32	31	
歩くロジャー 表情硬い	前から来るアレックスとア ラン	麦畑を下るロジャー	麦畑を降りて来るロジャー	イスのゴードンなめ青空 揺れるモビール	風見鶏なめ麦畑と雲	ドーム内 青空に白い雲	ドームの入口へ： FO
				(SE) モビールの揺れる音 (カラカラ：)			知れない人間がいる」 ～

46	45	44	43	42	41	40	39	38
揺れるモビール	畑に、かかし	離れる両者。 アランが帽子を振る	それを目で追うロジャー	アランの胸に青い花	同 別アングル	すれ違う両者	近づく両者	歩くアレックスとアラン
(S E) モビールの揺れる音 (カラカラ…)		アラン 「カカカカ ←						

<p>47 ロッキングチェアに座るゴ ードン。気配に見る。 PAN 入口にロジャー</p>	<p>48 ニコツとゴードン 帽子を取る</p>	<p>49 その胸に青い花</p>	<p>50 見つめるロジャー</p>	<p>51 ニコーツとゴードン</p>	<p>52 納屋なめ二人 静かな会話</p>
<p>ゴードン(滑)「君か…」</p>	<p>ゴードン「次のトマトの収穫は、まだ少し先な のだよ」</p>	<p>ロジャー「今日はトマトを戴きに来たのではあ りません」</p>	<p>ゴードン「そうかね」</p>	<p>ゴードン「君は、ここで収穫の時を待つのは退 屈だと思ふかね」</p> <p>ロジャー「いいえ、それがあなたにとって最も 重要な事なら」</p> <p>ゴードン「そう、その通り…」</p>	

57	56	55	54	53	
<p>入口の階段に腰降ろし、膝を抱えるロジャー</p>	<p>ゴードン、手下ろす 吊り椅子なめ二人 P A N</p>	<p>「シィ〜ツ」とゴードン</p>	<p>乗り出すロジャー !!となる</p>	<p>前後に揺れるゴードン（微笑んだまま）</p>	
<p>ロジャー「そう考える事が、あなたの幸せだった。しかし、私は……」</p>	<p>ゴードン「実体の無いものに、どうしてそう拘わるのかね。今ここに無いものは、最初から無かった事と同じではないのかね？」</p>		<p>ロジャー「あなたは……!!」</p>	<p>ロジャー(off)「あなたは、もしかしたら、失っていないのではありませんか？」</p>	<p>ロジャー「しかし、かつては違う事があなたにとって、最も重要なものであった」 ゴードン「かつて？ メモリーの世界の事か」</p>

65	64	63	62	61	60	59	58
花の香をかぐゴードン	差し出される花なめ向くロジャー	ゴードン、微笑んだまま、胸の花を…	ロジャー、遠くを見つめて、もどかしい心情を告白	溶ける時計塔の針	子供ら	メガデウス3体	ゴードン、微笑んだまま
ゴードン「ブルーベルと言うのだそうだよ」	ロジャー「？ 何です」 ゴードン(off)「美しい花だと思わんかね」	ゴードン「……」	ロジャー「だから知りたいたいのです。自分自身のメモリーを」				ロジャー(off)「いや、私だけではない。 ← 皆、気まぐれに顔を見せるメモリーの断片のせいで、自分が今立っている場所を、揺るがされている」 ←

72	71	70	69	68	67	66
白衣着たゴードン	WIN 炎に包まれる街	愕然のロジャー (B G O L) 炎の中に立つロジャー	暗い炎を宿すゴードンの瞳	老人だが威圧感たつぷりの ゴードン。低くしかし強く	チェアから立つゴードン	二人 俯くロジャー  ゴードン、突如核心に エツと立つロジャー
		ロジャー(off) 「け・い・や・く？」	ネゴシエーター	ゴードン 「私との契約までも忘れたのか。」	やはり、あなたが……	ロジャー 「話をはぐらかさないで下さい。あなた は知っている……。何故、私がビツ グオーを動かす事が出来るかを」 ゴードン 「メガデウスが選んだのだよ」 ロジャー 「それはどういう意味です!!」

79	78	77	76	75	74	73
<p>砂漠の向うにドーム都市 薄い砂風： カット尻、止む</p>	<p>前カットよりは薄い砂風 P D O L</p>	<p>誰かが歩いてる： 強めの風に舞う砂</p>	<p>バーコード ワイプ</p>	<p>子供ら</p>	<p>見開かれたロジャーの目 目パチ 目にバーコード</p>	<p>見つめる無表情な子供達</p>

ロジャー(M)「私のメモリーの中に無い、私自身

が交わした契約：

それは一体、何なのだ？」

(R)

86	85	84	83	82	81	80
回る天井の扇風機 バーコードワイプ TB	ボーツと見てるロジャー	ビッグイヤー席が空いてる。 来て座るロジャー、足組む。	!?と止まるロジャー コートの肩竦めて歩き出す	来るロジャー。 デイル、ビールを出す。 受け取るロジャー、奥へ。 グラスを持つデイル	ドア開け、入るロジャー	店内 カウンター内の店主 デイル、ふと外を見る
			ロジャー「!?」			



94	93	92	91	90	89	88	<del>87</del>
目を閉じているロジャー 声に目を開ける	客なめロジャー 壁に凭れ上向く	デイル グラスを磨く…	天井で回る扇風機	見開くロジャーの目 寄り 目にバーコード 寄り バーコード バーコードワイプ	ワイプ	子供らPU 奥に大きな子供 バーコードワイプ	子供ら
ロジャー「……」 エンジェル(off)「ブルーベルね」							

(14)

101	1 00	99	98	97	96	95
<p>デイル見て、背中向ける</p>	<p>サングラス外すロジヤー 向くエンジェル ロジヤー、指を鳴らす</p>	<p>見つめてるロジヤー</p>	<p>花なめエンジェル、目細めて、懐かし気に P A N</p>	<p>花の香を楽しむエンジェル 花を見るエンジェル</p>	<p>横へ座るエンジェル ロジヤー、胸の花を渡す エンジェル、受け取る</p>	<p>横へ エンジェル、ニコリと笑い、</p>
	<p>ロジヤー「一杯おごろう」 (S E) パチン</p>	<p>ロジヤー「……」</p>	<p>エンジェル「あたしは…よく知っている花…」</p>	<p>ロジヤー「……」 エンジェル「そして——」</p>	<p>ロジヤー(off)「この花を知っているか？」 エンジェル「この街には無い花だわ」</p>	



1 07	1 06	105	1 04	1 03	1 02
<p>テーブルの花なめロジャー</p>	<p>エンジェル背のアザ グラス転がす横顔</p>	<p>エンジェルを見るロジャー</p>	<p>デイルが去る。 奥にエンジェルとロジャー セリフ受けてグラス取るエ ンジェル。</p>	<p>コースターを慣れた手付き で置くデイルの手。 バーボンのグラスを置く。</p>	<p>花をもて遊ぶエンジェル。 尻、チラッと見る</p>
<p>ロジャー「だが、君が生まれ育った場所には、 可憐な花が咲く」</p>	<p>← この不健康な街が、楽園の様に思え ているでしょうね」</p>	<p>(off) ← きっと今頃は、</p>	<p>ロジャー「アレックスは戻ってきている」 エンジェル「そう：彼が直接行くななんて、予想 してなかった。」</p>		<p>エンジェル「ありがと。丁度飲みたかったの」</p>

1 10	1 09	1 08
<p>ビリヤード台の白球</p>	<p>ビールを持ち上げ、ニッコリ答えるロジャー</p>	<p>向き、グラス上げるエンジン エル</p>
<p>ロジャー(off) 「アレックスは、異国の勢力に接近し、一体何をしようとしているのだ」 エンジェル(off) 「彼は王様なの。」</p>	<p>世界で唯一、メモリーが未だ埋もれているかも知れないこの街の……でも、そのメモリーが何についてのものかも知らない王様——。 知るための手段を選ばない」</p>	<p>エンジン「フ……優しいあなたに（乾杯）」</p>
<p>ラックにセットされた球</p>	<p>手がIN ラックを持ち上げる</p>	<p>急に突かれた白い手球IN</p>

ロジャー(off) 「そこて異国を……父親を裏切ろうとして居るのか」  
 (SE) (off) コーン (白手球をつく音)  
 カキーン (白球に当たる音)

彼は

1 17	1 16	115	114	1 13	1 12	
<p>T B 海岸前の道路を走る車。 ダイナー店内、卓が入る。 くたびれたウェイトレス、 コーヒーポット持ってくる</p>	<p>見つめているドロシー 何かの気配に：</p>	<p>ドロシーなめ夜景 P U</p>	<p>空っぽの時計塔なめドーム</p>	<p>ビリヤード台なめ、二人 ポケットに落ちる赤い球</p>	<p>転がる赤い球 別の球が横切ったりする</p>	<p>九つの球を弾く</p>
<p>(S E) 少し大きめに店内 B G M 流れてる</p>				<p>(on) 過去のメモリーなんて関係ないでし よ」</p>	<p>エンジェル(off)「(苦笑)トマトに囲まれて幸せな 老人に、</p>	<p>ゴロゴロゴロ</p>

1 21	1 20	1 19	1 18
<p>客なめ二人。 再び食べるロジャー、</p>	<p>ステーキを切り分け、食べてるロジャー（モグモグ） エンジェルを見て</p>	<p>窓に写るエンジェル 時折、車が行く T B</p>	<p>店内 P A N カウンターの客にコーヒーを進めるウエイトレス。 エンジェルは頬杖： ロジャーは食べてる：</p>
<p>ロジャー「どうした、冷めてしまっぞ？」 エンジェル「（溜息）あなたはどうなの？」</p>	<p>ロジャー「（食べつつ）ノーマンには悪いが、たまには、こういうのも： （見て）？」</p>	<p>エンジェル「アレックスもメモリーの無い時代に生まれた男。彼が何故、メガデウス の力をあれほど欲しがっているのか か理解出来ないし、したくもない。 （向く）だけど」</p>	<p>エンジェル「ゴードンがメモリーをすっかり失 っている事は、アレックスにとつて 都合のいい事ばかりでも無い筈なの」</p>

126	1 25	1 24	1 23	1 22
ロジャー ナイフ返すと光る	ロジャーなめエンジェル	洋上、折れたタンカー。 写り込む店内 PAN	ロジャー、食べつつ見て フオーク下ろす	エンジェル、左手も頬杖し 乗り出す
ロジャー「例え… ←	エンジェル「……」  (off) ← 生きていくのかは、私自身が決める 事だ」	ロジャー「確かに、私は今の私が知らないメモ リーによって、ビッグオーと出会っ た。だが、それはそれまでの事。出 会った後に私とビッグオーがどうす るか、何を目的に	ロジャー「私は運命論者などではないよ」	ロジャー「何がだ？」  エンジェル「メガデウスのドミニナスである事 が自分の生まれた定めだとしたら」

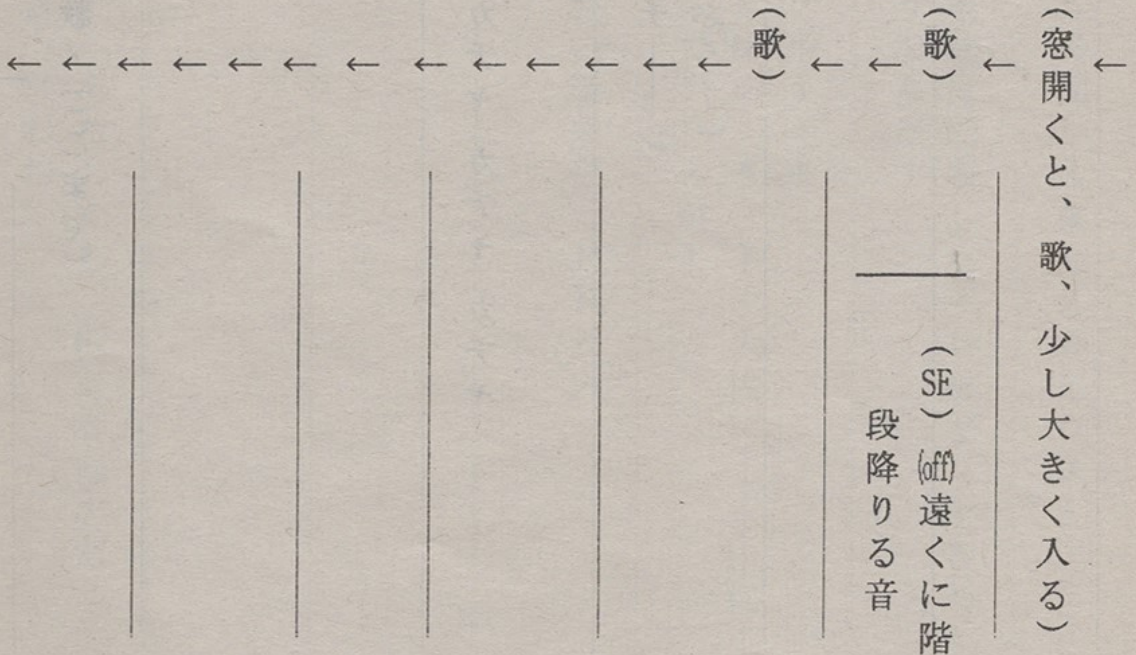
134	1 33	132	131	130	129	128	127
<p>微笑んでるエンジェル</p>	<p>ナイフを見るロジャー ナイフをエンジェルの手が 降ろす。 我に返るロジャー、 エンジェルを見る</p>	<p>ナイフ持つ手が震える： バーコードワイプ</p>	<p>大きい子供</p>	<p>大きい子供見える</p>	<p>子供ら（寄り）</p>	<p>子供ら バーコードワイプ</p>	<p>ロジャーの目に映るナイフ。</p>
	<p>ロジャー「私が——トマトの一つだったとして も」</p>	<p>ロジャー(off)「例え……」</p>					<p>——！」</p>



1 42	141	1 40	1 39	138	1 37	136	135
道の真中を歩く人影 車、避けていく	車のライトに照らされる人	聞いているドロシー PAN	ノーマン、?と 周りを見る	ドロシー	ドロシーなめ下にノーマン ドロシー、顔見えない	ドロシーなめ夜景 PU	スツと離れるエンジェル手
	(SE) (クラクション)	(SE) 風に乗って聞こえる「ラ・マルセイ エーズ」	ノーマン「歌? ハテ?」	ドロシー「:歌を聞いているの」	ノーマン「ずっと、そこでロジャー様を待つつ もりかね」	ノーマン(off)「ドロシー」	

1 48	1 47	146	1 45	1 44	1 43
出る男 暗い寢室 ゴソゴソして、	窓から覗き聞き入る警官 P A N 停まるパトカー P A N	聞き入る娼婦2人 P A N	ネオンの看板 見上げてる呼び込みの男 P D O L	ハミングしている口元 O L	ライトに照らされ歩く人。 (コート姿)
				ヴェラ	
				「(歌・ハミング『ラ・マルセイエー ズ』)」	
				← (歌つづく)	
				← ← ← ← ← ← ← ←	
				← (歌・外から聞こえてくる)	

1 55	1 54	153	1 52	1 51	1 50	1 49
<p>人数の増えた影が壁に写り込んでいく</p>	<p>歩道を行く男 PAN 後にもう二人ついていく</p>	<p>写真を倒す</p>	<p>服の袖に手を通す男 写真に手伸ばす</p>	<p>壁に写る人影(ヴェラ) 光が行き、影も右へ。 光が通り過ぎるので戻る影。</p>	<p>窓から覗く男。TB 手前に非常階段</p>	<p>窓へ向かう男。ベッドに女。 窓をゆっくり開ける</p>
<hr/>						



1 61	1 60	1 59	1 58	1 57	156
真 タイプなめ教材の書類と写 (三体メガデウス)	ぐくつと深くイスに凭れる ダストン	タイプを打ち終わるダスト ン。ちよつと溜息をつく	<del>F I</del> 軍警察署内 報告書 をタイプしているダストン	暗闇にフワツと光る目 同時に顔もF I P A N もう一つ目が光ってる。メ ガデウスの首が転がってる	セントラルドーム P U
		(S E) チー——ン ダストン 「ふう…」	(S E) カチャ カチャ カチャ		(歌・ここ)まで ←

1 68	1 67	1 66	1 65	1 64	1 63	1 62
座礁したタンカー PAN	ダイナより道を一本隔てた 海岸 PAN	道路の穴から、二個のメガ デウスの首が現れる	ドームに近い市街地 音。煙。爆発	机上の電話が鳴り、 取るダストンの手 受話器	メガデウスの写真	見詰めつつ冷えたコーヒ ーを飲み干すダストン
エンジェル(off)「あたしたち、 似た者同志だって 言ったわね」			(SE) 遠い爆発音 ドドーン	(SE) プルルルル ダストン(off)「はい、ダストン大佐。 メガデウスが！」 何!	← 本社は回収したアレをどうするつもりなんだ……	ダストン(M)「異国から来たメガデウス……」

1 73	172	1 71	1 70	1 69
<p>エンジンに握られた手を スツと上げるロジャー</p>	<p>ロジャー 固く微笑む</p>	<p>ロジャーなめエンジェル。 真剣な眼差しを向ける</p>	<p>ロジャーの左手の時計。 エンジェルの手が握る。 横に並ぶ</p>	<p>階段なめ砂浜で海を見つめ るエンジェルとロジャー</p>
		<p>エンジェル「あたしたちの関係——、変わると 思う？」</p>	<p>ロジャー(off)「我々の戦いは、それぞれ孤独なも のだ。 しかし……、時には共に……」</p>	<p>エンジェル「——共闘、しているのかしら」 ロジャー(off)「そうだ……。我々は共に自分の運命 を自分で選ぶと決めた者同志」</p>

1 78	1 77	1 76	1 75	1 74
<p>ロジャーなめエンジェル 突如、笑い出す（何かを期待した自分を：）</p>	<p>エンジェルなめ自信なく否定するロジャー</p>	<p>エンジェル、体を寄せる。 抱くロジャー 見つめあう二人： が、行為が進まない 言葉にハツとなるロジャー</p>	<p>しつかり握った手を、エンジェルに見せるロジャー</p>	<p>手を持ち上げると逆にエンジェルの手を握る。</p>
<p>エンジェル「ふふふ…あははは！」 （間2秒）</p>	<p>ロジャー「自制、ではない」 エンジェル（溜）「なら、誰の為の？」</p>	<p>エンジェル「（固い声）何の為の自制？」 ロジャー「<i>アッ！</i>」</p>	<p>ロジャー「もう、変わっている…」</p>	

185	184	183	1 82	181	1 80	179
座礁したタンカー PAN	砂浜 無言で立つ二人	波が砂浜を洗う	悔しさで引きつるエンジェルの苦笑	ハッとロジャー	小走りが出るエンジェル。 残されるロジャー 独言の様に叫ぶエンジェル 遮る様に出るロジャー。	手を握り、突き離す
		(SE) ザザ々々ツ	エンジェル「—くだらないわよ、本当に…」	ロジャー「—」	ロジャー「よせ！ くだらない邪推はやめたまえ！」 エンジェル「あなたは、まさかあなたは、あの、 いつだって不機嫌そうなアンドロイドを——」	エンジェル(off)「滑稽よ！ ロジャー・スミス！」

(歌小さくFI)

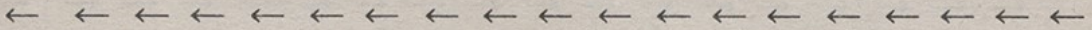


1 91	1 90	1 89	1 88	1 87	186
<p>追おうとするロジャークを、 時計のコールがとどめる</p>	<p>フラツと揺れると一気に駆 け出すエンジェル</p>	<p>聞くエンジェル 確かにシテイから聞こえる。 シテイに向くエンジェル。</p>	<p>歌を口ずさむヴェラの口元</p>	<p>P A N シテイに静かにこ だまする歌声</p>	<p>ハツと顔上げるエンジェル</p>
<p>(S E) ピーッ</p>	<p>ロジャーク「エンジェル？」</p>	<p>ロジャーク「どうしたんだ —— エンジェル？」</p>			<p>エンジェル「——」</p>

← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ←

| | | | | | | | | | |

197	1 96	1 95	1 94	1 93	1 92
駆けるドロシー	市内の足元 市内 歩道 駆けるドロシー	道路を渡って去るエンジェルの後姿。	階段を登りきるエンジェル	「何」となるロジャー、迷う様。時計から、去るエンジェルに目を移す	時計
				軍警察が、現場に向かっておりますが、如何なさいますか	ノーマン(無線)(off)「ロジャー様、セントラルドーム近くに、メガデウスが出現しました。」



(B)

2 03	2 02	201	<del>2 00</del>	199	1 98
<p>運転しながら、手に持つマイクに怒鳴るダストン相手の様子が変なので、</p>	<p>巨大な砲身なめドームが見えて来る</p>	<p>隊連成して来る流弾砲車輛</p>	<p><del>交通整理の警官の横を過ぎるパトカー。 続く巨大な車輛。驚く警官。 2台目が来る</del></p>	<p>ハイウェイ 掲示板に通行止</p>	<p>微かに響く歌声に、魅かれる様に駆けるドロシー</p>
<p>無線 (off) 「そっそれが!!」</p> <p>ダストン 「わかってる!! 中だ!!」</p> <p>ただ今、現場を急行</p>	<p>無線 (off) 「ダストン大佐! メガデウスです」</p> <p>ドドドド</p>	<p>(S E)</p> <p>ドドドド</p>	<p><del>ゴウー ゴウー ゴウー</del></p> <p>ウ~~~~ウ~~~~</p>	<p>(S E)</p> <p>ウ~~~~</p>	<p>← ← ←</p>

209	208	2 07	2 06	2 05	2 04	
足に、次々合体の他パーツ	着地する足パーツ	来るパーツに驚く警官。慌てて銃撃。効果無し。次々過ぎるパーツ達。追って、撃つ	ドームに向かって、様々なパーツが飛んでいく	オフィスなめ出現するドリル状の腕と胸部パーツ	警官達なめ下半身だけのメガデウスが歩いて行く	んっと思わずマイク見る
(SE) ガキーン、ガキーン	(SE) ズーン				(SE) ズーン ズーンズーン	ダストン「!?」

2 14	2 13	2 12	2 11	210
<p>アレックス目 笑ってない。 目を深く閉じアランを呼ぶ。 が、返事が無いので、 強く呼び直す</p>	<p>余裕で見下すアレックス んつと何かに気付いて フンと微笑む</p>	<p>歩くボナパルトを追い抜く うパトカー TB それはモニターだった。</p>	<p>PAN 光る二つの首。 メガデウスボナパルト吠え。</p>	<p>合体を完了するメガデウス</p>
<p>アレックス「ユニオンの奴等もバカ揃いでは無いという事か！」 アレックス「アラン！」 (間) アラン！」</p>	<p>アレックス「クズロボットの役目など、とつくに終わっている筈だ。」 ——！」</p>	<p>アレックス<small>(off)</small>「クズのロボット共が今更何を！」 <i>ユニオンの</i></p>	<p>(SE) ガガガガガガ</p>	<p>ガキーン、ガキーン ←</p>

221	220	2 19	2 18	217	2 16	2 15
ビッグオー上昇	道路割って出るビッグオー	煙の中から、走り出るグリフォン。ロジャー、時計に。	格納庫のファウ（シルエット）	目を細めるアレックス	モニター内 下方にプラズマを放つボナパルト	後方、アランの姿無い。 PU後、台詞
			OL			
	(SE) ズ〜〜ン ←	ロジャー「ビッグオー」	(off) お前達同様、未だファウにはメモリがない」 ←	アレックス「だが、	アレックス (off) 「お前達の運んでくれた、ビッグファウの身体は既に組み上がっている」	アレックス (off) 「肝心な時に、役立たずだ」
	ドドドド					

2 27	2 26	2 25	2 24	2 23	2 22
ボナパルト ドーム近くに 来て、止まる	炎上するパ トカーの間 を進むボナ パルト	ロジャー、 ハンドル離 すと、ウイ ンと上昇。	足の中へ入 るグリフォン。 停まるとス トツパー掛 かり、ハッ チ閉じる	走り抜ける グリフォン PAN 足のハッチ が開く バックで来 るグリフォン	ビッグオー の両足に向 かう グリフォン

2 34	233	2 32	231	2 30	229	2 28
<p>レバー掴み、叫ぶロジャー カメラ、一気に引き ビッグオー決め！</p>	<p>カット尻、起動文字点滅</p>	<p>ビッグオーコクピット内 モニターに現れる起動文字</p>	<p>キックで穴を広げる</p>	<p>壁の内側より見た絵 壁を殴るボナパルト</p>	<p>ドームの壁にドリル刺さる</p>	<p>ぐおつと構えるボナパルト 胸のドリルが回転を始める</p>
<p>ロジャー「ビッグオー、アクション!!」</p>					<p>~~~~~ガガガガ</p>	<p>(SE) ギユイイイイイイ ←</p>



2 42	2 41	240	239	238	237	236	235
踏み止まるボナパルト 身構える	ドーム内側壁 ヒビ入る 突き破るボナパルト	突進するストライクパイル	体起こすボナパルトに一撃	ロジャー ステイツク引く	ボナパルト、壁に激突	ボナパルト殴られる！	壁壊すボナパルト 向く
	(SE) (SE) (SE)	(SE)					
	壁の向こうで一発殴られ振動 ドーン	バキューン					

249	2 48	2 47	2 46	2 45	2 44	2 43
見上げてるドロシー	器用にバランス取るドロシー。片足立ち。見る	ガレキに乗るドロシー足。と、グシヤツと下がる	走り寄るビッグオー 組み合う	寄り いつもよりもハイテンション ンション TU	コクピット ロジャー	穴から出るビッグオー
					OL	
					ロジャー「理由は知らないが、巨大な力での破壊を見逃すわけには	ロジャー(off)「屍となっても、まだ、アレックスの宮殿を壊したいのか」
		(歌) 弱く		いかないのだ!!		
		← ← ← ← ←				

256	2 55	2 54	253	252	2 51	2 50
歌う多勢の前にヴェラ(音)	階段を越えると、多勢の姿(歌声の主)。P U 2 回	声は向うから聞こえる。歌 エンジェルの方かう先	引き 歩くエンジェル	ガレキを歩くエンジェル足	駅内部 壊れた天井から光が差し込んでいる。P A N	OL グラントステーション 薄く光(ドロシーのライト)に照らされてる P D

(段々大きくなる声)

← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ←

2 62	261	260	2 59	2 58	2 57
凍り付くエンジェルの所へ 歩いて来るヴェラ	驚愕のエンジェル	向く男装の麗人・ヴェラ	ハッとエンジェル「その声 は！」	無言の一同 答えるヴェラ	影から現れるエンジェル 一同を叱責すると歌が止む 言いつつ、クレーター状の 床を降りて来る
エンジェル「いえ、12号：あなたが自ら来るな んて：何故？」	エンジェル「!! ヴェラ：」	ヴェラ 「予想どおり、お前が一番遅かった」	(off) 340号	ヴェラ(潜)「我らが集う理由など、わかり切つて いるだろう。」	(歌声止む)  エンジェル「一体 どういう積り!? 祖国を懐かしむ お祭りでもして いる訳？」

268	2 67	2 66	265	2 64	2 63
アレックスなめファウ	格納庫 タラップを歩いて 来るアレックス。 手広げる	見つめるヴェラ。怒りのこ もった目	エンジェル 表情きつくなる	ヴェラなめ目線を外せない エンジェル	意味有り気にヴェラ
アレックス(潜)「答える、メガデウス!!」	アレックス「食欲なるビッグファウ。 あ何が必要なのだ? コアメモリ ← ーなど本当に存在するのca!?!」	ヴェラ 「それは、ローズウオーターの息子に 対する警告:」	エンジェル「では、外のロボットも:」	ヴェラ(潜)「それが、ユニオンに忠誠を誓った私 の使命」	ヴェラ 「理由を問うのか?」 ヴェラ 「それは、未だ成果を上げられぬ、不 甲斐ない兵士達の責任を取る為」

2 73	272	2 71	2 70	2 69
<p>二人 目を逸らそうとするがヴェラの視線は逃がさない。</p>	<p>ドロシーである</p>	<p>崩れた階段の向うに人影</p>	<p>固い表情のエンジェル。 下顎を掴むヴェラの手。 キスするかのように近づく。</p>	<p>ユニオンのメンバー達なめ ヴェラに責められてるエン ジェル P D</p>
<p>エンジェル「いえ、私は…」 お前はずっと、この地に来る事を望んでいたな」</p>	<p>← ← ←</p>	<p>ヴェラ(off)「(遮るように)ここでの生活がそんなに楽しいか。」</p>	<p>エンジェル「決して…」 ヴェラ「では、何故仲間との連絡を絶って単独行動している」 エンジェル「真なる、メモリーを——、探す為には……」</p>	<p>ヴェラ(潜)「340号：ユニオンへの忠誠を忘れた訳ではあるまいな……」</p>

2 80	2 79	278	2 77	2 76	275	274	
P A N 下から照らされている。	足元見ているドロシー パツと照らされる	ガラス片を踏むドロシー足	ヴェラなめ、上のフロアに 立ち上がる影（アラン）	驚くエンジェル。 向くヴェラ。 指し、指示	音のした方向	音のした方を見る一同	と、ガラス片の割れる音
	ドロシー「—— !!」			エンジェル「——!」			(SE) パキン

287	2 86	285	2 84	2 83	282	281	
ドロシーの左腕に着弾	二発避けるドロシー、欄干の上へ	銃口、火を吹く	ドロシーを見上げるヴェラ。うろたえるエンジェル	呆然のエンジェル ズイツと来るヴェラ ドキッとエンジェル	じりつと退くドロシー	近づくアラン 銃を抜く	影（アラン）近づく
(SE) パアアアン	(SE) キューン、キューン	(SE) パアン!!	エンジェル(潜) 「人じゃない、あれは…」	エンジェル「あの子、なんでここに…」 ヴェラ 「(冷酷に) 誰なのだ」 エンジェル「!!」			



294	2 93	2 92	2 91	2 90	2 89	288
向くドロシー 蹴るアラン	下へ逃げようと、穴の中へ 行くドロシー。背後に着地 するアラン	歩き出すドロシー	ガレキに漂う土煙 起き上がるドロシー	言いつつ銃身をペロ〜ツと なめるアラン	落ちるドロシー。体よじつ て、左手から突っ込む	足を滑らせる
		アラン(off) 「けど、お前の様な芸術品を破壊する 快樂は此物にはならない ← 何物にもかえりたい (こぼし)」	アラン「(笑)ククク……」	アラン 「木偶人形を破壊するのは、いつだっ て楽しい」		(こぼし) ←

(R)

302	3 01	300	299	298	297	<del>296</del>	2 95
近づくボナパルト	ビッグオーへ近づくボナパルト(3歩) P A N	ビルにぶつかるビッグオー	ロジャー 回転 T B	腕を掴むボナパルト、振る	ブロックした所へパンチ。	<del>ビッグオー、パンチ放つ</del>	トットトットと前へ行き、倒れる。前に来るアラン
(off) いつまでも神気取りでは ←	← ← アレックス(off) 「自覚のないドミユナス。」		ロジャー 「むううっ!!」				

3 09	3 08	307	3 06	3 05	3 04	303
ドロシーのOUT	落ちて壊れた看板。PAN よろよろ行くドロシー	迫るビッグオー	橋なめビッグオー、ボナパ ルトへ迫る 俯瞰	コクピットのロジャー PAN	近づくボナパルトへパンチ。 吹っ飛ばすボナパルトを追う。	右レバー引くロジャー
エンジェル(off)「12号つ、アランをつ！」		このロジャーの法がつ!!	ロジャー(off)「だが、この地上には法がある!	ロジャー「魂の無い機械にしては頑張っている じゃないかっ!」	(こぼし)	いられないのだよ

316	315	314	3 13	312	3 11	3 10
煙の残る銃口 銃を回す	ホーム上に倒れるドロシー	足撃たれたドロシー 倒れる	後ずさるエンジェル そこへ銃声がこだまする	ゾツとなるエンジェル	冷たい目でエンジェルを見る ヴェラ	必死に訴えるエンジェル
		アアアア〜〜ン	エンジェル「知らない：私の本当の事なんて、 何も」 (SE) パアアア ←	エンジェル「!! (殺すつもりだ)」	ヴェラ 「あれは：お前を知っているのだな？」	エンジェル「271号を止めて！ 無意味だわ！ アンドロイドを破壊したって!!」

3 23	3 22	3 21	3 20	3 19	318	3 17
横道より主道 ブレ先行 退るボナパルト	T B にじり寄るアラン ガラインとした所	目を見張るドロシー	そのUP 腕にはロジャール と同じ時計。文字盤が光る	銃しまってるアラン 左腕の袖を捲る	右足撃たれたドロシー P U	西部劇を気取って、懐に銃 をしまうアラン、上機嫌
(S E) ガキーン ガキーン (殴り付ける音)	アラン(潜) 「(笑) かかかっく」		アラン 「お前の主にも、このショウを見て貰 おうじゃないか ←	アラン 「さて、開演と行こう」		

3 28	3 27	3 26	325	3 24	
<p>アランのメカ右手が、回転を始めると、ドリルとなる不快な回転音</p>	<p>ロジャー、ニヤリレバー引く</p>	<p>ボナパルト退いて、膝着く。四つん這いになる。ビッグオー追う</p>	<p>退くボナパルト。一発喰う</p>	<p>ビッグオー連打。ボナパルト後退ラスト、左パンチ</p>	<p>入るビッグオー</p>
<p>(SE) (歯科医のドリルっぽい音) キュイ くくく ←</p>	<p>ロジャー「そろそろ墓に戻って貰おうか！」</p>				

336	3 35	3 34	333	3 32	331	3 30	329
動かないビッグオー	グッとレバーを前へ入れるが、すぐに止まってしまふ	コクピットなめ四つん這いのボナパルト	コクピット ロジャー	クロムバスター発射準備のビッグオー	アラン、ニターツと笑って	アラン、ゆっくり手広げて迫る	ドロシー
ロジャー「……どうした、ビッグオー？」	!!?	ロジャー(off)「チリは、チリにつ	ロジャー「灰は灰につ」			アラン「準備はいいかい？」	(ドリル音) キュウー——ン

342	3 41	3 40	3 39	3 38	3 37
バーコードチルドレン	目、見開いてるロジヤー (目元にスポットライト)	丸モニターに流れる文字 途中でザーッと乱れて、 バーコード流れっぱなし	叫ぶロジヤー !!と見ると	目の明かり消えてるビッグ オー	ガシガシと動かそうとする が、動かないレバー
			ロジヤー「何故動かない!! !!」 ビッグオー!!		



3 50	349	3 48	347	3 46	345	344	343
ギギギと起きるボナパルト。 吠えて、倒れる様に一步。	ロジャー 虚脱状態	立ちつくすビッグオー 後ろにパラダイム本社 OL	レバーを握る手がゆるむ	ロジャー、目、見開いてる 目に流れるバーコード	トマトを差し出すゴードン	バーコードチルドレンの目	目、見開いてるロジャー
ボナパルト「ゴオオオオオン」	ロジャー「トマトの…一つ…」	ロジャー(off)「私は…」		ロジャー(off)「トマト…」			



<del>3 56</del>	355	3 54	353	3 52	3 51	
<del>駆け込むエンジェル グランドステーション</del>	腕先がギューンと回り出す	ビッグオーなめ、体起こす ボナパルト 腕が両方、広がる様に動く	ロジャー、呆然	OL 目の光失ったビッグオー 倒れてる	倒すボナパルト。煙： ビッグオーへ突っ込み、	次の一步は加速、速く出る。 更にスピードUP
<del>(SE) (off) (遠くからドリル音・アランの方) キューイイイーン</del>						

(18)

3 63	362	3 61	360	359	<del>358</del>	<del>3 57</del>	
ドリルを前へ構えるボナパルト	見ているドロシー	P A N ドロシーへ向かうアラン	アランの右手のドリル	来るアランの足元(2歩位)	<del>睨み付けてるヴェラ</del>	<del>仁王立ちのヴェラ 後ろにユニオンのメンバー</del>	右見る
(SE) ボナパルトの吠える音 ←				(SE) (off) キュウウーン ←			ヴェラ (off) 「340号」

	3 67	366	3 65	364
	体引き、勢いつけて、ドリルを向けて突っ込んでくると、ストップモーション	呆然としてるロジヤー	ビッグオーに馬乗りになつてるボナパルト	呆然のロジヤー
「To Be Continued」				
	(SE) ボナパルトの吠える声	ロジヤー「ビッグオーのドミユナス…」	ロジヤー(off)「私は…」	ロジヤー「私は…」 ←

